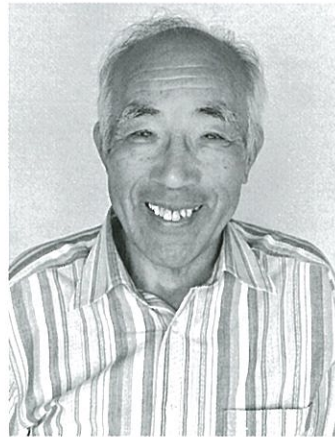




本会いきいき長寿課で実施している『元気高齢者発信事業』のコーナーです。いきいきと年齢を感じさせない生き方をしている、元気に活躍を続ける方や団体をご紹介します。



遠藤 利夫さん (伊達市 81歳)

活動名・内容

- 郷土史研究 (特に保原地区の歴史民俗・生活習慣)
- 教育広報活動 (小学校等での郷土史学習講師)

歴史ある地域 『保原』に生きる

遠藤さんは昭和7年に旧・保原町(現・伊達市)に生まれ、以来、長年にわたり地元で生活を営んでいまして。伊達市の位置する東北地方は、古くから全国でも有数の養蚕が盛ん

な地域で、特に旧・保原町は生糸の集散地として発展を続けてきました。深い歴史のあるこの地域で、幼少の頃から本を読むことと歴史の勉強が大好きだったという遠藤さんは、成人してからもそれは変わらず一層歴史への興味は増し、その真剣に取り組む姿には家族も感心しています。こうした一面が、遠藤さんの現在の活動につながっています。

『郷土史研究家』として

定年後ほどなくして、伊達市保原歴史文化資料館に勤務。この資料館では、郷土・保原に関する様々な歴史資料や文化資料の収集・整理・保存を行い、貴重な資料の展示や講座・イベント等も行っていきますが、遠藤さんは業務を通じて本格的に郷土史を学び、さらに研究を重ねていったといえます。平成21年には遠藤さんの功績もあり、全国の養蚕業をリードしてきた伊達地方の変遷や貴重な有形文化財などを収録した図録『伊達地



遠藤さんも執筆を担当した『図説 伊達郡の歴史』

地域の歴史への造詣が深く、生き生きと語る遠藤さんの姿は非常に印象的です。興味を持ったことはとことん突き詰めて、日々研究を重ねています。

これからも地域の歴史を子どもたちへ

数年前からは市民学校の講師や寿学級での講演を行うなど、知識や経験を生かし地域の人々に歴史を教える活動を続ける遠藤さん。特に未来を担う子どもたちへの思いは強く、地元を伝えるために小学校に出向き、講師としても活躍しています。授業を受けた児童からは多くのお礼状が届くといい、宝物にしているとのこと。「子どもたちは自分の元気の源。こちらの気持ちも生き生きとします」と、大きな生きがいを感じています。

現在81歳ですが、その年齢を感じさせない若々しさで多忙な日々を送る遠藤さん。健康にも気を配り、自ら畑を耕し農作業にも励んでいます。「自分のやっていることが、少しでも世の中の役に立つならばうれしい」と話し、これからも今のペースで、郷土史研究や子どもたちとの交流など、様々な活動を続けていきたいそうです。

いきいき川柳

山本 葉月 選

- 兄弟の絆深める母が居る
白河市 鈴木 シナ
- 木洩れ日に目を閉じ風の会話聴く
白河市 会田富美子
- 夢一つ抱いて古希の登り坂
白河市 難波サダ子
- 風雪に耐えた数だけ生き延びる
相馬市 草野 昌子
- 隔世遺伝何があっても泣きません
相馬市 鈴木 幸雄
- 昭和史に耐え抜く母の章がある
相馬市 荒 保文
- 婆ちゃんのスローフードが粋な味
会津若松市 五十嵐親子
- 生きべたで路傍の石に蹴躓ずく
会津若松市 藤原 昭八
- 内視鏡言い訳などはお見通し
会津若松市 平野 守久
- 利用価値まだ有るらしい頼られる
いわき市 松内 和子
- ケータイを持たぬ自由に明け暮れる
いわき市 山縣 幸統
- 良く撮れたシワは写真に写らない
いわき市 鈴木 フミ
- 九条の平和も揺れる自衛権
いわき市 野口 一生
- 二世三世血筋だからと担ぎ上げ
福島市 斎藤 絹子
- 花市に見栄を加えた束を買う
福島市 梅津ひさし
- 流行語聞いてもピンと来ない脳
福島市 高橋 美代
- ため息を空の財布に閉じ込める
福島市 長沢つねお
- 頼ってばかり妻の尻尾を離さない
郡山市 菊田 信子
- 幸せが逃げないように丸く生き
郡山市 狗飼 英子
- 懐かしい友の電話は国なまり
郡山市 増尾ウメ子

高齢者総合相談センターからのお知らせ

平成26年12月・平成27年1月の相談日のお知らせ

相談種別	相談員	相談日		時間
		平成26年 12月	平成27年 1月	
専門相談	年金・保険	社会保険労務士	月 8日	午後1時30分～午後3時30分 ※専門相談は要予約
	法律	弁護士	火 2日・9日・16日	
	税金	税理士	水 21日	
一般相談	センター相談員	月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み		午前9時～午後5時

相談は無料です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyo.or.jp

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談	月曜日～金曜日 午前10時～午後4時	相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 認知症コールセンター TEL (024)522-1122
平成26年 12月・平成27年 1月の面接相談	12月11日(木)・26日(金) 1月8日(木)・23日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約・随時相談も可	

相談は無料です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み



年齢を感じさせず、いきいきと活躍を続ける方や団体をご紹介します。今月号は、須賀川市と金山町でそれぞれ活躍する2団体です。

向陽町自遊クラブ元気会 須賀川市

○活動名・内容

健康体操
(創作したオリジナルの体操で健康増進と会員相互の親睦を図る)



元気会代表の松永スイさん(前列左から2人目)、向陽町自遊クラブ会長の桑葉勉さん(前列右から2人目)、ほかメンバーの皆さん。

なじみ深い音楽に合わせた
オリジナルの健康体操

向陽町自遊クラブ元気会(以下、元気会)は、地区の老人クラブである向陽町自遊クラブの会員で構成される団体の一つで、高齢者の生きがいと健康増進のために毎月2回、昔のなじみ深い音楽(いわゆる「懐メロ」)に合わせたオリジナルの体操で和気あいあいと体を動かしています。「気軽に参加することで会員同士の親睦を図ることができ、生きがいやストレス発散にもつながっています」と話すのは、元気会の代表である松永スイさん(77歳)。幼少の頃から日本舞踊やダンスが好きで取り組んできたという松永さんは、平成7年の退職後まもなく向陽町自遊クラブに加入。活動のひとつとして自ら創作したダンスを提案したところ、ぜひ老人クラブの皆でやってみたい!との声が上がりました。その後、平成21年から本格的に健康体操に取り組み元気会がスタートし、現在に至っています。

男性の参加が活動の支えに

松永さんがこれまでに創作した健康体操の曲は、実に30曲。メンバーは毎月の定期的な練習に元気よく参



活動の様子(地区の芸能発表会)。

ムからも声がかかり、利用者に楽しんでもらっています。

「男性のメンバーが他地域よりも多いのが特徴です」と話すのは、向陽町自遊クラブ会長の桑葉勉さん。約40名のうち10名が男性で、他地域の方々からは驚きの声がかかります。また、年齢層が60代の若手から高齢の95歳までと幅広いのも特徴です。今回集まっていたいたメンバーは、実年齢に見えないほど若々しく、活動の充実ぶりが感じられました。

楽しく活動する姿を
若い世代にも

元気会の活動は、同じ地域に住む人々の交流が深まるだけでなく、気持ちや身体がすっきりして一人ひとりの生きがいにもなる取り組みとして、現在まで続けられてきました。

近年、老人クラブへの加入者数は減少傾向にありますが、無理なく楽しみながら活動している姿を若い世代にも見ってもらい、今後につないでいくためのPRをしていきたいと言います。これからも仲間と支え合って楽しく取り組んでいくという思いを強く感じました。

茶の湯窓月会 (金山町)

○活動名・内容

茶道
(茶の湯の稽古、茶会の開催、福祉施設や小学校等での茶会の開催、イベントへの参加)



窓月会の皆さん。前列中央が代表の渡辺ハツさん。

やりがいをもって
茶道に取り組み

茶の湯窓月会は福島県西部の奥会

津・金山町で活動を続ける団体で、昭和63年に結成しました。今年で26年目を迎えますが、現在も結成当初からのメンバー5人を中心に、文化活動としての茶道に日々楽しくやりがいをもって取り組んでいます。

代表を務めるのは、石州流茶道教授の資格を持つ渡辺ハツさん(82歳)。教師を定年退職後、長年取り組んできた茶道を地域の仲間とも楽しく続けていきたいと、窓月会を立ち上げました。それ以来、町では名の知れた団体となり、一度は窓月会に関わったことがあるという町民は多いと言います。毎年、開催した茶会等の参加者数の集計も続けており、「これまでの延べ参加者数は7,600名以上になります」と、渡辺さんは実績を振り返ります。

地域とつながり、幅広い活動

窓月会の活動は茶道の作法の習得にとどまらず、新年早々の初釜茶会をはじめ、地区の文化祭や町文化協会の発表会での披露のほか、小学校の体験学習や特別養護老人ホームでの茶会の開催など、地域との深いつながりを持ちながら幅広く行っています。最初は茶道をハードルの高いものと思っていた方も、一度参加す



作法に従い、お茶を点てます。

参加した方からは「気軽に抹茶をいただけてうれしい」「ぜひ今後も続けていただきたい」など、好評を博しています。

「一つの道」をこれからも

中心メンバーの平均年齢は約80歳ですが、近年では活動に共感した40〜60代の若手も入会し積極的に活動を担うなど、後継者も育っています。

「この小さな町でも、日本の伝統文化である茶の湯という『一つの道』をつくることができました。これからも後継者の方々が続けていってくださるならば、さらに長い道になっていくでしょう」と、渡辺さんはこれからを見据えています。常に周りの人々への感謝を忘れずに活動を続ける窓月会の姿勢は、非常に印象的でした。

ると誰もがその魅力や楽しさを感じられるように、様々な場面で開催する茶会はいつ也大勢の人々で賑わうと言います。

高齢者総合相談センターからのお知らせ

平成27年1月・2月の相談日のお知らせ

相談種別	相談員	相談日		時間
		平成27年 1月	平成27年 2月	
専門相談	年金・保険 社会保険労務士	月		午後1時30分～午後3時30分 ※専門相談は要予約
	法律 弁護士	火	13日・20日・27日	
	税金 税理士	水	21日	
一般相談	センター相談員	月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み		午前9時～午後5時

巡回相談会のお知らせ

開催月日	開催場所
2月13日(金)	本宮市 社会福祉協議会
時間	
●一般相談 午前10時30分～午後3時	
●法律相談 午後1時～午後3時(要予約)	

相談は無料です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先	県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター3階 TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyō.or.jp
--------	---

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談	月曜日～金曜日 午前10時～午後4時	相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 認知症コールセンター TEL (024)522-1122
平成27年 1月・2月 面接相談	1月8日(木)・23日(金) 2月12日(木)・27日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約・随時相談可	

相談は無料です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み



年齢を感じさせず、いきいきと活躍を続ける方や団体をご紹介します。

今月号は3団体を紹介します。

よやいこい 桃花舞 (福島市)

活動名・内容

○健康づくり活動(主によやいこい踊り)・ボランティア活動

本場のよやいこい踊りを福島で

福島市で活動するよやいこい桃花舞は、踊ることが好きなメンバーが集まり『よやいこい踊り』で健康づくりに取り組む団体で、平成19年に発足しました。代表の高林利津子さん



代表の高林さん

(64歳)が、13年前に旅行で訪れた北海道で本場の踊りを目にし、ぜひ福島でも本格的にやってみたいと思ったのが立ち上げのきっかけです。



小学校の授業の一環として披露

現在は市内の様々な地域から集まった15名が、親睦を深めながら元気よく活動が続けています。

日々の練習の成果は、ボランティアとして地域の福祉施設で披露するほか、地域の文化祭でも発表を行っています。また、近隣の小学校へ授業の一環として教えるに行くこともあります。踊りを披露するときにはオリジナルの衣装を着用しますが、これはすべて高林さんの手づくりで、メンバーからも大変好評です。

高林さんは「踊りを観る方々に楽しんでいただき、元気になってもらいたい。幸せを感じてくれたらうれし



相談役の滝澤さん

い」と話します。これはメンバーの共通した思いでもあり、楽しさや笑顔を届けることで自分たちも元気になるのだそう。これからも全員揃って楽しく仲良く続けていきたいと、今後の抱負を語ってくれました。

琴伝流大正琴 保原りんどう会 (伊達市)

活動名・内容

○大正琴の演奏

地道に続けてきた20数年の活動

琴伝流大正琴 保原りんどう会は、伊達市保原町で平成4年に発足し、現在まで20年以上の長きにわたり、大正琴の演奏を続けています。

「毎月の練習では、熱心に楽しく元気に演奏しています」と話すのは、相談役の滝澤フクさん(88歳)。会長を務めた経験があり、現在もメンバーから頼りにされる存在です。メンバー

は伊達市内に住む20名ほどで、最年長者は92歳。発足当初はほとんどが初心者でしたが、専門の指導者を迎えて定期的な練習を続け、演奏会を開催できるほどになり、県内外の演奏会や大会に数多く参加し続けています。現在では地域の福祉施設へ出向き、施設利用者に演奏を楽しんでもらえるようなボランティア活動も行っています。

熱心に練習した後で、メンバーが楽しみにしているのがお茶会です。その日の振り返りの場であるとともに、気が置けない仲間どうしでいろいろな話に花を咲かせる親睦の場にもなっています。こうした活動を通じて、気持ちの面でも張り合いが出て、日々を楽しく過ごすことができそうです。「長く続けている保原りんどう会の活動をこれからも続けていけるよう、若い世代と力を合わせていきたい」と滝澤さんは目標を語ってくれました。



15周年記念コンサートでの演奏の様子



会長の後藤さん（前列中央）と役員の皆さん

常磐松が台松友会（いわき市）

活動名・内容

○老人クラブ活動
（健康講座・環境美化活動など）

健康で明るい地域生活のために

常磐松が台松友会はいわき市の常磐松が台地区の老人クラブです。会員それぞれが培ってきた長年の経験を活かして地域社会に奉仕し、健康で明るい生活を送ることを目的として活動するほか、会員が一堂に会する機会や行事を多く設け、親睦を深めています。



児童公園の清掃活動

これからの課題は会員の高齢化や後継者不足。より充実した活動を継続するために、60代からの若い会員を増やしたいそうです。後藤会長をはじめ今回集まっていた役員の方々からは、現在の素晴らしい活動を今後も長く継続していきたいという意気込みが感じられました。

間行事計画に基づき多様な取り組みを行っています。なかでも力を入れているのは健康に関する活動です。地域包括支援センターと連携して開催する健康講座では、会員のニーズに応じたテーマ（認知症予防・睡眠・在宅医療など）について教養を深めるほか、定期的に地区周辺を歩く健康会では体力の向上も図っています。また、環境美化活動にも熱心で、地域の児童公園の管理を老人クラブとして市から受託し行っています。

「毎月様々な行事を行っています」と話すのは会長の後藤光孝さん（81歳）。毎月始め、年

高齢者総合相談センターからのお知らせ

2月・3月の相談日のお知らせ

相談種別	相談員	相談日		時間
		2月	3月	
専門相談	年金・保険 社会保険労務士	月	9日	午後1時30分～午後3時30分 ※専門相談は要予約
	法律 弁護士	火	10日・17日・24日	
	税金 税理士	水	4日	
一般相談	センター相談員	月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み		午前9時～午後5時

巡回相談会のお知らせ

開催月日	開催場所
2月13日(金)	本宮市 社会福祉協議会
時間	
●一般相談 午前10時30分～午後3時 ●法律相談 午後1時～午後3時(要予約)	

相談は**無料**です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先	県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター3階 TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyo.or.jp
--------	---

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談	月曜日～金曜日 午前10時～午後4時
2月・3月の面接相談	2月12日(木)・27日(金) 3月12日(木)・27日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約・随時相談可

相談・予約先	県社協 いきいき長寿課 認知症コールセンター TEL (024)522-1122
--------	--

相談は**無料**です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み



年齢を感じさせず、いきいきと活躍を続ける方や団体をご紹介します。



本田利雄さん
(80歳 福島市)

活動名・内容

○合唱活動(福島ナツメロを楽しむ会会長・御山童謡の会会長)
ほか多数の合唱団体に中心メンバーとして参加
○福島市古閑裕而記念音楽祭実行委員会委員(平成26年)

二 精力的に続ける合唱活動

本田さんは昭和10年に福島市で出生。音楽好きの両親の元で幼少の頃より音楽に親しみ、小・中学校時代の音楽の成績は誰にも負けなかったといっています。当時、身近に楽器はありませんでしたが、それなら自分が歌えばいいと思い立ち、高校では合唱部で活動。その後の現役時代も合唱活動を続け、定年後は一層本格的

に取り組みようになりました。

目を見張るのは、その活動の多彩さです。現在2団体の会長を務めるほか、福島市内の各種合唱団体の中心メンバーとして参加・指導しており、その数は延べ12団体にも及びます。また、60年余りにわたる合唱歴で身につけた歌のレパートリーは約2,000曲あり、クラシックや抒情的な歌謡曲、演歌、童謡など、ジャンルを問わず何でも歌えるそう。80歳という年齢を感じさせない鍛えられた歌唱力で、大小様々な発表会や文化祭などに出演し続けています。

「日々何かしらの合唱活動を行っています」といっただけで、とにかく歌うことが好きで、多忙な毎日を送る本田さん。これからも歌い続けて、いずれは息子さんが住職を務める寺でカラオケ教室を開いてみたいという目標を思い描いています。



第1回福島県芸術祭に出演(昭和37年)

おおたろうじんかい ておど
太田老人会 手踊りクラブ
(南相馬市)



会長の萱山さん(前列左)、指導者の佐藤さん(前列左から二人目)及びメンバーの皆さん

活動名・内容

○手踊りの披露・ボランティア活動

二 伝統の手踊りを仲間と楽しく踊る

太田老人会 手踊りクラブは、南相馬市の地区老人クラブである太田老人会の会員で構成される団体です。発足から30年以上の歴史を持ち、踊り好きのメンバーが扇子などの小道具を使い、様々な民謡に合わせて踊る手踊りに励んでいます。

会長を務めるのは、長年にわたる踊りの経験を持つベテランの萱山サク子さん。一時、踊りから遠のいたことがありましたが、身の回りが落ちてきたところでもう一度趣味を楽しみたいと再開し、今に至るといいます。メンバーは8名で平均年齢は70歳を超えますが、地区の文化祭や福祉施設への慰問などを精力的に

行っており、時には白河市などの遠方に向いて手踊りを披露するなど、元気いっぱい活動が続いています。

約4年前に発生した東日本大震災の影響で、メンバーの中には現在も避難生活を送る方がいます。しかし手踊りクラブは、震災後いち早く活動を再開し、皆で集まって練習を続けてきました。手踊りクラブの指導者で、市内を中心に多くの団体でも指導する佐藤あきえさんは、「原発事故の影響で農作業ができず、こもりがちになってしまったので、早くクラブを再開して心の拠り所にしたかった」と当時の心境を語ります。孤立や混乱した日々の中で、少しの時間でも仲間と会話したり、踊りで体を動かして楽しんだりするひとときを作って、気持ちを和らげていきたいという思いがあったといいます。

年齢を感じさせないメンバーが集まる手踊りクラブは今後も、「腕前の上達」「様々なイベントへの出演」など多くの「目標」を掲げて活動を続けていきたいと意気込んでいます。



手踊りを披露していただきました

いきいき川柳

山本 葉月 選

辛抱も肥やしと母の声がする

相馬市 佐藤 弘子

耐える事教える父の節くれ手

相馬市 高橋 敏

八合目で風の試練に立ち向かう

相馬市 鈴木 幸美

こらえても遂に吹き出す爺の顔

相馬市 池田としい

わだかまり捨てて心の窓開く

会津若松市 蓮沼 丞

切手貼りおろおろしてる恋心

会津若松市 小澤 芳子

初恋を運んでくれた古切手

会津若松市 皆川久美子

我慢など知らぬ男の金バッチ

会津若松市 長谷川竜太

しょうがないお金は使う為にある

いわき市 山田幾久子

老二人二合の米で足りる幸

いわき市 永木 沢代

次世代へ残しちゃいかん負の遺産

いわき市 柴田ハル子

能書きに洗脳されて飲むサプリ

いわき市 芳賀 一郎

七輪の秋刀魚日本の食文化

福島市 湯浅よしき

道草の中で自分も育てられ

福島市 高橋 成子

たっぷり文化に浸るコンサート

福島市 熊坂よしえ

復興の柱が建たぬ空洞化

福島市 安田和楽志

母からの味を伝える食文化

郡山市 青木 初江

ゆっくりと酒は私を騙してく

郡山市 六戸とし子

おしゃべりを聞くのもひとつボランティア

郡山市 渡辺 香

上機嫌妻のお喋り止まらない

郡山市 本間 勝子

不平など言わぬどん底見てるから

白河市 今野フミ子

そんな事昔あったと言える歳

白河市 坂本 忠雄

哀感を選び分けているゴミ袋

白河市 黒澤百合子

地図にない迷路に男試される

白河市 富永 政己

高齢者総合相談センターからのお知らせ

3月の相談日のお知らせ

相談種別	相談員	相談日		時間
		3月		
専門相談	年金・保険	社会保険労務士	月 9日	午後1時30分～午後3時30分 ※専門相談は要予約
	法律	弁護士	火 10日・17日・24日	
	税金	税理士	水	
一般相談	センター相談員	月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み		午前9時～午後5時

相談は無料です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先	県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター3階 TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyō.or.jp
--------	---

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談	月曜日～金曜日 午前10時～午後4時	相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 認知症コールセンター TEL (024)522-1122
3月の面接相談	3月12日(木)・27日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約・随時相談可	

相談は無料です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み



年齢を感じさせず、いきいきと活躍を続ける方や団体をご紹介します。



宮本利治さん
(95歳 伊達市)

活動名・内容

- 保原町囲碁同好会顧問
- 保原町グラウンドゴルフ協会顧問

様々な活動に現役で取り組む

宮本さんは大正8年に旧湯本村(現在のいわき市常磐湯本町)で出生。昭和3年より湯本信用無尽株式会社(現在の福島銀行)に勤め、以降、銀行員として県内各地を転々とする現役時代を過ごしました。その後は伊達市保原町に居を構え、銀行を退職後も町内のデパートの役員として70代まで勤め上げた後、第2の人生をスタートさせ、現在に至ります。現在95歳の宮本さんですが、その気力と体力は衰えることを知らず、



グラウンドゴルフに取り組み宮本さん(写真左)

様々な趣味や活動に取り組んでいます。その一つが囲碁で、キャリアは実に80年以上、日本棋院5段の実力です。まだ娯楽の少なかつた頃に始めた囲碁は、思考力の涵養や「コミュニケーションのツール」としても大いに役立つたといえます。昭和60年には保原町囲碁同好会を自ら設立し、会長として囲碁の普及や仲間同士の交流に尽力。顧問となった現在も毎日のように囲碁を打つそう、宮本さんの生活の一部になっています。

また、平成5年からはグラウンドゴルフを始め、有志と保原町グラウンドゴルフ協会を設立。当初の会員は5名程度でしたが、普及と発展に努め、現在は90名ほどに増加。今も現役で競技に取り組んでいます。

このほか、農作業にも励むなど、年齢を感じさせない日々の活躍には驚くばかりです。過去には大病を患いましたが、それも克服し現在は至って健康なのだそう。「100歳を指していききたい」と今後の目標を掲げています。

いずみぎぎ語りの会 (泉崎村)



会長の大森さん(後列左から2人目)、ほかメンバーの皆さん

活動名・内容

- 昔話・紙芝居の伝承と公演

一村の民話を披露し語り継ぐ

代の10名。村出身の方のみならず、他市町村や県外から転入してきた方も多く、それぞれの個性や経験を生かして、方言で語ったり、標準語で話したり、手づくりの紙芝居を用いるなど、様々な演じ方で披露しています。昔話や民話はすべて暗記して語るそう、メンバーは日々練習を重ねてレパートリーを増やしています。毎月行われる例会は、日頃の練習の成果を披露し合う場であるとともに、楽しく語り合い親睦を深める場にもなっています。

「子どもたちや高齢者の方々とのおれあい、こちらでも元氣になります」と話すのは、会長の大森光子さん。出向いた先の方々はいつも語りの会の公演を心待ちにしており、語りを披露できる喜びとやりがいを感じています。今後もメンバー同士のつながりを大事にしなが、いつまでも続けていきたいと抱負を語ってくれました。

泉南部の泉崎村で活動するいずみぎぎ語りの会は、村に伝わる約80もの民話や昔話を語り継ぎ、将来を担う子どもたちに伝承しようという思いから平成14年に結成された団体です。活動の範囲は非常に多岐にわたり、出演依頼のあった村内の幼稚園や小学校、病院、社会福祉協議会や公民館の事業などで語りを披露するほか、時には村外や県外にも出向くなど、積極的な活動を続けています。元氣あふれるメンバーは、60〜70



紙芝居も披露します

サザンクロスクラブ 平成26年度実施事業報告（相双方部）

本会では、高齢者の生きがいや健康づくりのための組織づくりとその育成を図るため、いきいきシニアサポート事業として「高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会」（愛称：サザンクロスクラブ）を支援しています。サザンクロスクラブは、高齢者の社会参加活動を支援する人々によって構成される組織で、県内の各々部でそれぞれの地域特性を踏まえた様々な事業を実施しています。

東日本大震災そして原発事故から4年が経過した今も、多くの方々が避難生活を送る状況が続いており、相双方部サザンクロスクラブでは、今こそ人と人とのつながりが大切であり、そうした機会をつくることで高齢者の元気を創出できると考え、以下の事業を実施しました。

相双方部 実施事業

○南相馬市子どもスポーツゆめパーティ

平成26年12月14日／ロイヤルホテル丸屋（南相馬市）
参加人数 123名

南相馬市内及び近隣に住する小学生が参加できるパーティを開催。高齢者が受付や安全確保の役割を担当して裏で支え、地域で子どもを守る心意気を醸成し、高齢者の生きがいと元気の創出を図りました。参加者からは、今後もこのような機会を設けてほしいという声が多く聞かれました。



○おでかけ de 結うスポット

平成26年11月10日／ロイヤルホテル丸屋（南相馬市）
参加人数 37名

みんなが交流できる場と機会をつくり、震災後ストレスを抱える高齢者の、元気と生きがいの創出を図りました。芥川賞作家の柳美里さんを招き「いのち」をテーマとした講演をいただいたほか、お茶を飲みながらお互いの近況やこれからのことなどを大いに語り合ったり、レクゲームを楽しんだり、参加者は笑顔で交流しました。



高齢者総合相談センターからのお知らせ

4月・5月の相談日のお知らせ

相談種別	相談員	相談日		時間
		4月	5月	
法律相談	弁護士	火 7日・14日・21日	12日・19日・26日	午後1時30分～午後3時30分 ※要予約
一般相談	センター相談員	月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み		午前9時～午後5時

相談は**無料**です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyu.or.jp

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談	月曜日～金曜日 午前10時～午後4時
4月・5月 面接相談	4月9日(木)・24日(金) 5月14日(木)・22日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約・随時相談も可

相談・予約先

県社協 いきいき長寿課
認知症コールセンター
TEL (024)522-1122

相談は**無料**です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み